

## 国道254号バイパスについての意見募集結果を公表します

国道254号バイパスについて、平成19年11月29日～12月17日実施の意見募集では335人の方から御意見をいただきありがとうございました。お寄せいただいた主な御意見を集約整理し、県の考えをまとめましたのでお知らせいたします。

御意見の内容	県の考え方
<b>I. 道路構造（施設整備を含む）について</b>	
<b>1 平面案がよいとする主な意見</b>	
建設費が安いというのは重要なことである。経済性に配慮することにより、税金を大切に、そして有効に使うことができる。	最小の経費で最大の効果が発揮できるよう整備を進めてまいります。経済性に配慮することで、早期供用に繋がるものと考えております。
利便性の向上や渋滞緩和等を図るため、バイパスを早期に整備して欲しい。	早期に整備できるよう鋭意努力してまいります。
平面案は沿道との出入りが容易で、店舗の立地等による地域経済の活性化が期待できる。高架や地下では車が通過するだけで地元にメリットがない。	平面案は出入りが容易で、沿道の様々な土地利用を図るには適した構造と考えます。
大気・騒音・振動など環境面に十分配慮した道路構造にして欲しい。	平面構造の場合は、車道の両側に設ける環境緩衝帯での工夫により沿道環境などに配慮した計画が可能です。なお、大気・騒音・振動など環境基準等を満足できることを確認しています。県内でも特に環境に配慮した上質な道路を整備していきたいと考えています。
安全面などから自転車専用道路を整備して欲しい。	道路構造が決定した後に、地元市や住民の皆様の意見を伺いながら、環境緩衝帯の設計の中で検討いたします。
安全面などから幅の広い歩道を整備して欲しい。	道路構造が決定した後に、地元市や住民の皆様の意見を伺いながら、環境緩衝帯の設計の中で検討いたします。
歩道橋や押しボタン式信号の設置など子どもや高齢者の安全面にも配慮した整備をして欲しい。	子どもや高齢者はもちろん誰もが安心して安全に利用できるよう道路整備に努めてまいります。
自然災害や車輛事故の対応を考えると平面案が優れている。	平面案は防災面に優れた構造であると考えています。
生活道路に多くの車が流入して危険である。富士見川越有料道路が無料化されると市内の交通状況の悪化が心配である。	バイパスが整備されることにより、生活道路から通過交通が減少し、交通の安全性などが向上するものと考えています。
地盤が軟弱な地域なので、地盤沈下の心配が少ない構造が望ましい。	平面構造が最も地盤沈下の影響が少ない構造と考えられます。
平面構造では、主要な幹線道路との交差点で渋滞が発生する恐れがあるので、一部立体交差化の検討が必要である。	個々の交差点については、道路構造が確定した後に詳細に検討し、渋滞が予想される箇所など必要に応じて立体交差化も検討してまいります。
環境緩衝帯に植樹をして、緑の多い道路にして欲しい。	道路構造が決定した後に、地元市や住民の皆様の意見を伺いながら、環境緩衝帯の設計の中で検討いたします。
<b>2 地下案がよいとする主な意見</b>	
排気ガス、騒音、振動などの生活環境への影響を考えると、道路構造は地下案が最も優れている。	環境のほか、走行性、経済性、沿道利用、防災など総合的に評価した結果、県としては、平面案が最も優れた道路構造と考えています。
平面案で整備した場合、既存の道路がバイパスで分断され、通学や買物など日常生活へのマイナスが大きい。地域コミュニティの分断でも問題がある。こうしたことから、道路構造は地下案が最も優れている。	交差道路の国道254号バイパス横断箇所には、必要に応じて信号機や歩道橋等を設置いたします。また、国道254号バイパスに併設する歩道などを使用することにより、横断箇所まで行きやすくなります。こうしたことにより国道254号バイパスの横断方向への移動制約については軽減可能と考えています。
<b>3 高架案がよいとする主な意見</b>	
車の流れを考えると交差制限のない高架案が最も優れている。	走行性のほか、経済性、沿道利用、防災、環境など総合的に評価した結果、県としては、平面案が最も優れた道路構造と考えています。

御意見の内容	県の考え方
<b>Ⅱ 道路計画、構造案の検討方法について</b>	
<p>そもそも、この道路の必要性を明らかにする必要がある。</p>	<p>国道254号バイパスについては、説明会資料にもあり、国道254号(現道)の混雑緩和、県南西部の幹線道路ネットワークの強化、地域内の交通安全の向上のために必要と考えています。</p>
<p>構造案の検討方法については、建設費のみの比較で説明しているが、住民の健康、地域コミュニティなど様々な観点から総合的に検討、評価されるべきである。</p>	<p>道路構造の検討にあたっては、走行性、経済性、沿道利用、防災、環境など総合的に評価しております。</p>
<p>道路構造の決定にあたっては、市民検討委員会等の住民合意形成を図るべきである。</p>	<p>道路構造の検討にあたり、説明会や市民の皆様からの意見募集・アンケート調査を実施することで、いろいろな形で広く市民の皆様から意見を伺っており、合意形成に繋がるものと考えています。</p>
<p>これから道路構造を検討していく段階で、平面構造案が最も優れた案と説明するのは押しつけである。</p>	<p>市民の皆様のお意見を伺う過程で論点を明確にするために県の見解を示したものです。</p>
<p>道路構造の検討にあたり、調査・検討した推計交通量や大気・騒音・振動の予測値など数値的根拠を示して欲しい。</p>	<p>分かりやすい資料にとりまとめて、朝霞県土整備事務所ホームページにて公開しました。</p>
<p>説明会の周知が不十分であった。</p>	<p>説明会の周知については、市内全戸に配布されている「広報しぎ」が最も適していると考えております。</p>
<p>説明会では、質疑応答の際に質問のある人がまだいるにもかかわらず、途中で打ち切っていた。時間が短かったのではないか。</p>	<p>説明会は、2回開催し、質疑応答はそれぞれ1時間30分程度行い、出席者の御意見を十分に伺うことができましたと考えております。</p>